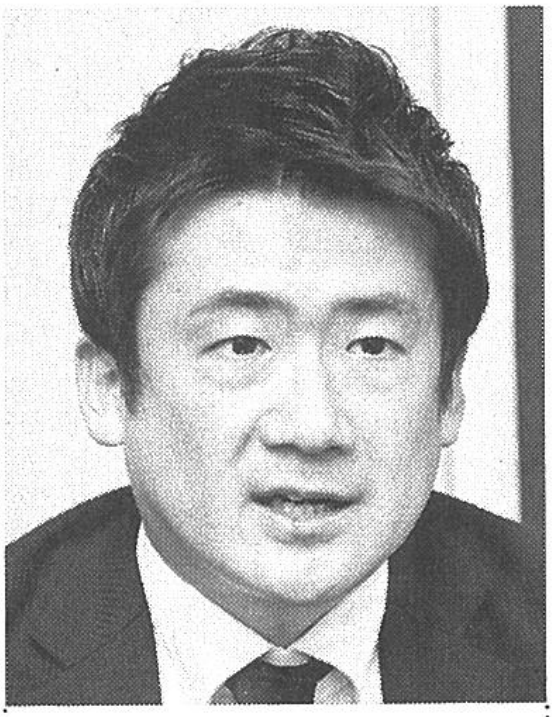
■日刊建設工業新聞　（2014年3月12日付）

リサーチアンドソリューション社長　美濃部直樹氏

「新しいアイデアで一歩前に　スピード感持った対応必要」

Key Person



リサーチアンド
ソリューション社長

美濃部（みのべ）　直樹（なおき）氏

新しいアイデアで一歩前に
スピード感持った対応必要

ＡＣＫグループの事業会社としてソフトウエアや基幹業務システムの開発などを手掛ける。昨年12月の社長就任以来、「若い世代を中心に社員のやる気や思いをいち早く形にする」ことを心掛け、経営の陣頭指揮を執っている。

スマートフォンやタブレット端末の普及に加え、大容量・高速通信を可能にする環境の整備も進む中、「既成概念を覆し、スピード感を持った対応が欠かせない」との思いは強い。グループ内での連携強化と新しいビジネスモデルの構築がより強固な経営基盤を作り、事業拡大につながると見ており、「風通しの良い社内環境を整え、コミュニケーションを密にして新たな一歩を踏み出したい」と話す。

企業として成長を遂げるために必要なのは、柔軟な発想と行動力だと考える。「若い社員の多くは、新しいことに飢えていながら、自分がどうしていいのか方法が分からない」ように見えるといい、「仕事の負荷もあって挑戦することに二の足を踏んでいるところがあるのではないか」と指摘する。

システムやソフトの開発を手掛ける業界は企業間競争が激しく、収益確保も困難を極める。それだけに「少しでも多くの余裕を作ってあげたい。社員から新しいアイデアを募り、次の一歩が踏み出せる体制を早急に整えたい」。

自動車の運転データを活用した新サービスは、成長が期待できるビジネスの一つ。「街づくりや道路整備にも活用できるはず。社会的な貢献度も高い事業でぜひとも成功させたい」と言う。約200人の社員と共に「枠にはまらず社会や地域に役立つビジネスにおくせず取り組む」。